

連携提案：発達臨床心理学の知見を活かした子育て支援・親子支援

キーワード：親子関係、愛着関係、発達初期、質的研究法、子育て支援

臨床・健康教育学系 准教授

飯塚有紀 Iizuka Yuki

連携提案内容と効果

心理学のこれまでの研究の中には、親子支援や子育て支援に活かせる知見が多く蓄積されていますが、まだ十分に活用されているとは言えない状況です。

これまで、上越地域において福祉分野や教育分野において、相談業務を行い、発達臨床心理学の知見を活かした子育て支援や親子支援を行ってきました。

また、心理学の研究法の新しい流れの一つである、質的研究法を用いて、観察やインタビュー調査を行い、親子関係とくに母子関係についての研究も実施しているところです。

これまでの発達臨床心理学の知見を核とし、関連フィールドと連携しながら、産官学が結びつき、上越地域の親子支援・子育て支援をより良いものにしていくことを目指します。

質的研究法を用いた発達臨床心理学の研究促進

産官学の連携

地域に密着した親子支援・子育て支援の実現



アピールポイント

行動の観察やインタビューなどの方法を用いた質的研究法を用いた研究の知見を活かした子育て支援策への提言を行います。また、これまで上越地域で行ってきた福祉分野や教育分野での相談経験や発達臨床心理学の知見をもとに講演活動なども行います。

連携したい分野

心理学の知見を活かした子育て支援を模索する自治体。
心理学の知見を活かした子育て支援を行おうとする学校。
心理学の知見を活かした子育て支援を行おうとする企業。

研究テーマ：質的研究法を用いた発達初期における親子関係の構築過程の解明と親子・子育て支援の検討

	プロフィール 昭和46年上越市生まれ。 平成30年から上越教育大学。 教育・福祉分野などで相談業務に従事。 臨床心理士・公認心理師。	専門分野 発達臨床心理学
	関連URL	主な研究内容 ・発達初期における母子関係の成立に関する研究。 ・母子関係を中心とした子育て支援に関する研究。 ・観察やインタビュー等の質的研究法を用いた研究。

関連する業績等

- 『低出生体重児における母子再統合場面での抱きの変化と母子相互作用』(2009年、発達心理学研究)
- 『低出生体重児とその母親へのタッチケア導入に関する探索的アプローチ』(2009年、小児保健研究)
- 『NICU入院を経験した低出生体重児の母親にとっての母子分離と母子再統合という体験』(2013年、発達心理学研究)
- 『保育園における3歳未満児保育を保育者はどのようにとらえているか -保育者の目線から「三歳児神話」を再考する-』(2017年、研究紀要 青葉)

お問い合わせは、 飯塚研究室 yuki@juen.ac.jp